



平成29年5月18日 第59巻423号
発行所
東京都小学校音楽教育研究会
事務所
東京都渋谷区幡ヶ谷3-49-1
渋谷区立中幡小学校

不易と流行

東京都小学校音楽教育研究会
会長 早川 修一
(練馬区立向山小学校長)

平成29年度が始まってから、早いもので1ヵ月半が過ぎました。各区市町村音楽部も新体制ができ、着々と今年度の研究を進めておられることと思います。各音楽部との連携を十分に図り、充実した活動ができるよう努めていきたいと考えております。ご協力をよろしく願いいたします。

都小音研の研究主題は「つながる 深まる 音楽する喜び」です。この主題のもと、昨年度は中央Aゾーン大会で「子供が音楽で輝くとき」を目指しました。そして、今年度は総武ゾーン大会の「つなげる 見つける 私たちの音楽」へとつなげ、さらに深めていきます。4月の研究会・総会では、約300名の会員の皆様に集まっただき、総武ゾーン大会に向けての良いスタートを切ることができました。

今年都小音研は60周年を迎え、総武ゾーン大会は、創立60周年記念 第60回 研究大会となります。昭和31年10月16日に第1回の結成大会が中央区立京橋昭和小で行われてから60回を重ね、改めて歴史の重さを強く感ぜざるを得ません。先輩方が築き上げてこられたものを大切に、さらに発展させていくためには、このゾーン大会により多くの会員が関わり、参加することが最も重要です。大会の成功に向けて、総武ゾーンの皆様だけでなく、多くの会員の皆様に支えていきましょう。

4月の総会の際、文部科学省 教科調査官の 津田 正之 先生にご講演をいただきました。新学習指導要領の改訂趣旨について大変分かりやすく解説いただき、出席した会員にとっては理解を深める大きなチャンスとなりました。津田先生は最後に、「新学習指導要領の実施に向けて今やるべきことは、現行の学習指導要領の趣旨を十分理解し実践することである。それが、来年度から始まる新学習指導要領の移行期間、そして32年度の全面実施につながる。」というお話がありました。このお話を伺っていて、私は「不易と流行」という言葉が頭に浮かびました。学習指導要領の改訂とはいえ、全く別のものになるわけではありません。不易なものを大切にしつつ、新しい内容について十分理解し取り入れていくことが重要です。

これは都小音研の活動も同じで、60年の中で培われてきた伝統を大切にしつつ、時代の変化に対応した改革も進めていかなければいけません。今、音楽専科教員の大量退職時代を迎えています。1校に一人しかいない音楽専科教員にとって、全都的な学びの場は必要不可欠です。7月の学ぶ理事会、1月の総武ゾーン大会、そして毎月のように行われています各種研究会による研究会や研修会など、数多くの学びの場が都小音研にはあります。一人でも多くの方に一回でも多く参加していただき、東京の子供たちのために音楽の授業力を磨いていきましょう。



授業報告

江戸川区立下鎌田西小学校の伊藤友貴主任教諭による、第5学年「強弱やリズムを工夫して、自分たちの手拍子の音楽を楽しもう」を題材とした授業でした。本時では教材「クラップフレンズ」のリズムを使って、「リズムの反復や違いを生かしながら、リズムに合う強弱を工夫して、自分たちの手拍子の音楽を演奏する」ことをねらいとした授業が展開されました。

導入では、休符や強弱、手拍子のたたき方やアクセントなどを工夫して、リズムの模倣やリレーを全員で行いました。そして前時に鑑賞した「天国と地獄」の強弱の変化と、それによってどのような感じがしたかを振り返った後、「クラップフレンズ」を全員で演奏し、反復を生かした強弱となっていることを確認しました。

本時の中心となる活動は、①グループで「クラップフレンズ」を基にした2小節のリズムカードを4枚選び、つないで8小節のリズムをつくる、②リズムの反復や違いを生かして、つくったリズムに合う強弱を工夫する、の二つでした。各グループにはホワイトボードが用意され、リズムカードを貼ったり強弱記号を書き込んだりして活発に話し合いながら、いろいろな工夫を何度も試していました。また、グループ活動の合間に、教師は「終わり方も工夫しよう。」と声を掛け、「このグループは反復のところが強弱をこんな風に工夫しているよ。」と工夫のポイントを紹介してクラス全体で共有することで、さらによい表現を目指すように導いていました。

グループ活動の後、いくつかのグループの発表を聴き合いました。「同じリズムだが強弱が違った。」「音の出し方を工夫していた。」「終わり方が消えていくようになっていた。」など、それぞれのグループの工夫やよさに気付いて聴くことができました。



総会報告

花の色が美しい季節となった4月20日(木)、江戸川区教育委員会指導室指導主事 森川康一様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、江戸川区立鎌田西小学校にて都小音研総会が行われました。

まず早川修一会長より「1月の中央Aゾーン大会では、大会主題『子供が音楽で輝くとき』のもと区市の枠を越えた研究の成果が発表され、参会の皆様とともに多くを学ぶことができました。今年度は総武ゾーン大会です。大会主題の『つなげる 見つける 私たちの音楽』を実践するべく、充実した研究を展開してください。学校に一人だからこそ、こうして集まり切磋琢磨して授業力向上を図ることが大切です。来年1月26日(金)も、タワーホール船堀に多くの方にお集まりいただき、ともに学び合えますよう、各地区の先生方でお声掛けをお願いします。」と挨拶がありました。

次に、ご来賓の森川康一様と会場校校長 齋藤涼子様からご祝辞を賜り、その後、議長に渋谷区立中幡小学校 宮田俊明校長と江戸川区立第三松江小学校 大木美智代主任教諭が選出され、議事はすべて承認されました。

議事終了後、今年度の新役員の紹介があり、その後、都小音研にて長年お力を発揮していただいた、元副会長 橋本研先生、元会計部長 後藤宏子先生へ感謝状が贈呈されました。お二方のお言葉の中には「私は都小音研に育てられた」「今一生懸命注ぐパワーはやがて子供が返してくれる」といった研究を続ける意義と現役部員へのエールがこめられていました。先輩方の熱い思いの伝わる中、石橋悟副会長による閉会の辞で総会は閉会しました。

講演報告

総会終了後、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 津田正之先生より「学習指導要領改訂のポイント」についてのご講演がありました。

今回の改訂では、

- ①学びに向かう力・人間性等…どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
- ②知識・技能…何を理解しているか 何ができるか
- ③思考力・判断力・表現力等…理解していること・できることをどう使うかを育成すべき資質・能力の三本柱とし、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を総合的にとらえて構造化したことが、大きなポイントとなります。

新学習指導要領は、育成すべき資質・能力を明確にする観点から、音楽科においては、次のような観点から目標や内容が整理されています。

【教科の目標/学年の目標】

- (1) 知識・技能の習得
- (2) 思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 学びに向かう力・人間性等の涵養

【内容の構成】

- (ア) 思考力・判断力・表現力等に関する資質・能力
- (イ) 知識に関する資質・能力
- (ウ) 技能に関する資質・能力

これらの資質・能力は、学習の過程において、相互に関連を図りながら一体的に育てていくことが重要となります。

また、〔共通事項〕に示す「音楽を形づくっている要素」については、児童の発達や指導のねらいに対応できるように、学年別ではなく、指導計画の作成と内容の取り扱いに一括して示しています。

今回の改訂で強調されていることは、生活や社会の中の音や音楽の働きの視点から、「学んだことは何か」「それにはどのような意味や価値があるのか」などを子供自身が自覚できるようにすることです。このことは、児童が教科としての音楽を学ぶ意味を明確にすることにつながります。

最後に、「今、私たちに求められていることは今後の方向を見据えつつ、現行学習指導要領の趣旨を確かに実現していくことです」と締めくくられました。



音楽科教育の構造 (平成29年告示)



本年度の研究について

研究部長 石井 ゆきこ (港・芝小学校)

研究主題 「つながる 深まる 音楽する喜び」

1 研究主題について

本研究主題は現行学習指導要領に基づき、平成21年度より設定されました。一つには、人とのつながり、音楽とのつながりの中で、子供が音楽的に深まり、人間として豊かに育ち、音楽を聴いたり表現したりする喜びをもつことができることをねらいとしました。これは、今を生きる子供が、今を大切に仲間と共に豊かな人間関係を築き、共に音楽を楽しむことができる姿を求めています。もう一方、こうした経験を積み重ねることによって、一人の子供が生涯を通して音楽の学びをつなげ、音楽に親しみ続けてほしいと願っているものでもあります。

音楽とつながり、音楽的に深まるためには、子供たちが音楽に対して思いや願いをもっていることが重要です。そのための教材選択や教材との出会い、その思いを音楽で表現したり、思いをもって音楽を聴いたりすることができる指導計画や指導過程の在り方、音楽をつくり上げる指導の組み立て方などを研究することとしました。また、〔共通事項〕を意図的・計画的に指導の積み重ねの中に位置付けることの効果にも注目し、研究を進めています。このように、音楽的・人間的な成長を促す音楽科授業を追究していきたいと本研究主題を設定しました。

新学習指導要領が告示された今年度は、音楽科における「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指す研究内容を検討していきます。

2 研究の概要について

(1) 各地区の研究

都小音研の研究活動の中心となるのは、各区市町村単位の研究です。各地区単位で研究主題を設定し、授業研究、実技研修、教材研究等を行っています。また、各地区の実状に即して音楽鑑賞教室、連合音楽会、研究発表等も実施しています。

(2) ゾーン研究

ゾーン研究は、昭和56年度に始まって以来、順次都小音研研究大会を開催し、各地区の交流による研究の深まりを期待し進められてきました。各ゾーンの特徴を生かして企画・実施しています。編成に当

たっては、各地区の校数を配慮すると共に、隣接の地区をまとめて一つのゾーンとし、全都を13のゾーンに分けて広域研究を実施しています。また、年間一回はゾーン代表者会議を開催し、ゾーン相互の情報交換も行っています。

(3) 各種研究会

各種研究会は都小音研会員による自主的なグループ研究が発足・継続・発展し、組織されたものです。現在10の研究会が研究会員対象の毎月の定例研究会や全都の都小音研会員対象の研修会、研究発表会を企画・運営しています。内外から著名な講師を招聘し、各研究会の特色を生かした理論的・実践的な研究が繰り広げられており、都内はもとより、他道府県からも注目されています。

(4) 常任理事会

本会は名誉会長、会長、名誉役員、副会長、理事長、副理事長、監事、及び各部(庶務、会計、研究、調査、事業、広報)で構成され、月一回開催し、都小音研の様々な活動を支えています。総会研究会、学ぶ理事会、児童作曲コンクール企画・運営、会報の発行、諸調査・報告などを行い、理事会で報告しています。

(5) 理事会

各地区の理事の集まりである理事会は毎月定例会として行われ、常任理事会報告及び都小音研の課題について協議、検討されます。充実した貴重な情報交換の場として機能しています。

3 本年度の研究大会について

平成29年度研究大会は、総武ゾーン(墨田区・江東区・江戸川区)で実施します。“学びの意味や価値を実感しながら主体的に音楽活動をする子”“友達と学び合って考えを深め、豊かな表現を求める子”の育成を目指し、大会主題「つながる 見つける 私たちの音楽」を設定しました。研究授業、研究演奏、研究発表とともに、この地区に伝わる郷土の音楽「葛西囃子」の演奏と講演も行います。大会は平成30年1月26日(金)にタワーホール船堀で開催されます。是非ご参加ください。

平成29年度 研究大会ご案内

平成29年度 全日本音楽教育研究会全国大会 沖縄大会（総合大会） 第58回 九州音楽教育研究大会 沖縄大会

11月1日(水)・2日(木)

沖縄コンベンションセンター ほか
大会主題「つなげよう未来へ 伝え合おう
音楽・ちむぐくる」

- 第15回 東海北陸小中学校音楽教育大会
石川大会
10月27日(金) 石川県立音楽堂
コンサートホール ほか
大会主題「ときめき ゆらぎ そして きらめく」
- 第48回 中国・四国音楽教育研究大会 香川大会
10月27日(金) 観音寺市民会館 大ホール ほか
大会主題「つなげよう 音と心と ときめく瞬間」
- 第59回 北海道音楽教育研究大会
オホーツク北見大会
11月10日(金) 北見芸術文化ホール ほか
大会主題「響きあい 感じあい 伝えあい
共に感動を」
- 第65回 東北音楽教育研究大会 秋田大会
第57回 秋田県音楽教育研究大会
11月10日(金) アトリオン音楽ホール ほか
大会主題「ひびきあう よろこび
～知覚・感受した音楽の“よさ”を
分かち合う授業を通して～」
- 第59回 関東音楽教育研究大会 栃木大会
11月10日(金) 宇都宮市文化会館
大ホール ほか
大会主題「実感！ 音楽の楽しさ
分かち合う思い」
- 第59回 近畿音楽研究大会 大阪大会
第62回 小学校大阪府音楽教育研究大会 泉北大会
第60回 中学校大阪府音楽教育研究大会 泉北大会
11月17日(金) NHK大阪ホール ほか
大会主題「なにわの音魂(おとだま)」



退任役員及び監事・新役員の紹介

平成29年度より、役員が一部変更となりました。

〈退任〉

副会長 田郷岡美佐江

監事 後藤 宏子

〈新役員〉

副会長 石橋 悟 (江戸川・清新第一小)

飯島 満子 (世田谷・九品仏小)

副理事長 坂倉 理恵 (小平・小平第六小)

峯岸 敦子 (世田谷・松原小)

玉野 麻衣 (世田谷・奥沢小)

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈3月理事会〉 3/9 於：中幡小学校

議長：杉山 奈美 (北・王子小)

○会長あいさつ

○議事

- 4月の行事予定について
- 平成29年度の事業計画について
- 平成29年度 総会・研究会について
- 平成29年度 総武ゾーン大会について
- 会則・細則 附則の改正について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

○各区市理事よりひとこと

〈4月理事会〉 4/20 於：下鎌田西小学校

議長：宮田 俊明 (渋谷・中幡小)

○会長あいさつ

○議事

- 平成29年度の事業計画について
- 5月の行事予定について
- 平成29年度 総武ゾーン大会について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*事業 *調査 *広報

編集後記

花冷えの雨が続きましたが、桜の美しさをゆっくりと眺めることもできました。今年度は都小音研60周年を迎え、会報も秋には特集号を予定しています。1校一人の音楽専科にとって、有意義な情報を発信できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(A)

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 早川 修一

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288